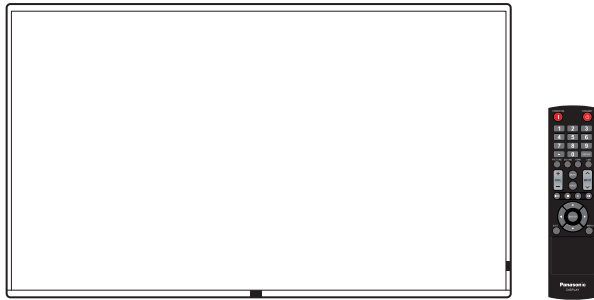


取扱説明書 基本ガイド

UHD 液晶ディスプレイ 業務用

品番 TH-65CQ2J (65V 型)
TH-55CQ2J (55V 型)
TH-50CQ2J (50V 型)
TH-43CQ2J (43V 型)



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

はじめにお読みください

本機の操作方法など、より詳しい内容については「取扱説明書 詳細編」をお読みください。

「取扱説明書 詳細編」のダウンロードについては、次の URL を参照してください。

<https://biz.panasonic.com/jp-ja/products-services/prodisplays>

または、

まかせなサイト  で検索してください。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(3～7ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- この取扱説明書は、TH-65CQ2J (65V 型)、TH-55CQ2J (55V 型)、TH-50CQ2J (50V 型)、TH-43CQ2J (43V 型) 共用です。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

保証書別添付

4K

PROFESSIONAL

* 実解像度: 3840 x 2160 画素

 **Advance™**
Covered by patents at patentlist.accessadvance.com

HDMI™

もくじ

お使いになる前に

- この取扱説明書のイラスト、画面などはイメージであり、実際とは異なる場合があります。
- この取扱説明書の説明イラストは、主に TH-55CQ2J (55V 型) を元に作成しています。

安全上のご注意	3
使用上のお願い	8
付属品の確認	10
付属品	10
リモコンの電池の入れかた	10
移動するときの注意	11
ケンジントンセキュリティスロット	11
別売オプション	12
接続	13
電源コードの接続と固定、接続ケーブルの固定	13
映像機器の接続	14
接続の前に	15
各部の基本説明	16
ディスプレイ	16
リモコン	17
基本の操作	18
保証とアフターサービス (よくお読みください)	19
仕様	20
ソフトウェアライセンス	22
商標について	31

大切なお知らせ

業務用ディスプレイ / プロジェクター テクニカルサービスサイト PASS について

PASS は、当社ディスプレイをご使用またはご購入を検討されている方に様々なサービスをご提供する、総合サポートサイトです。

詳しくは下記の WEB サイト

(<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/pass/>)

または、

パナソニック PASS  で検索してください。

メンバー登録が未だの方は、 から登録をお願いします。

メンバー登録がお済みの方は、登録メールアドレス / パスワードを入力してログインしてください。

■ 簡単にご登録だけで、様々なコンテンツを ご利用いただけます

- ・ダウンロード
ユーティリティソフトウェアや業務用ディスプレイファームウェアをダウンロードできます。
- ・ニュースレター購読
PASS の最新情報、新製品情報などをメールでお届けします。
- ・お問い合わせ
ログインいただくと、細かい手続き不要ですぐにお問い合わせいただけます。
- 3年間の無償修理サービス
ご購入いただいた製品を登録することにより、基本保証とあわせて 3年間の無償修理サービス特約が適用されます。
- 本体購入後 1 か月以内に PASS に
ご登録頂きますようお願いいたします。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気をつけていただく内容です。



警告

異常・故障時は直ちに使用を中止してください

■異常があったときは電源プラグを抜いてください

- 煙が出たり、異常な臭いや音がる
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水などの液体や異物が入った
- 本機に変形や破損した部分がある



電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

- 電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
- 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。
- お客様による修理は危険ですから、おやめください。
- 電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントをご使用ください。

■故障した本機には手で触れないでください



感電の原因になることがあります。

■異物を入れないでください

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。



火災・感電の原因となります。

- 特にお子様にはご注意ください。



警告

電源コードについて

- 電源コードは本機に付属のもの以外は使用しないでください



付属以外の電源コードを使用すると、ショートや発熱により、感電・火災の原因になることがあります。

- 付属の電源コードを他の機器に使用しないでください



ショートや発熱により、火災や感電の原因になることがあります。

- 電源プラグにほこりがたまらないよう、定期的に掃除をしてください



湿気などでショートし火災・感電の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください



感電の原因となります。

ぬれ手
禁止

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外では使用しないでください



たこ足配線などで、定格を超える、発熱により火災の原因となります。

- 電源プラグ（コンセント側）や、電源コネクター（本体側）は、根元まで確実に差し込んでください



差し込みが不完全であると、感電や発熱による火災の原因となります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントのまま使用しないでください。

- 電源コードや電源プラグを破損するようなことはしないでください

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねる など）



ショート、断線により火災・感電の原因となります。

- 電源コードやプラグの修理は、販売店にご依頼ください。

- 破損した電源コードや電源プラグには手で触れないでください



感電やショートによる火災の原因になることがあります。



警告

■設置は、工事専門業者にご依頼ください



工事が不完全ですと、死亡、けがの原因となります。

- 指定の別売据置きスタンドをご使用ください。(P.12 ページ)
- 壁への取り付けには指定の別売壁掛け金具や VESA 規格準拠の壁掛け金具を必ずご使用ください。
65/55/50V 型：
VESA 400 × 400
43 V 型：VESA 200 × 200
(P.8 ページ)
- 落下防止のため、ディスプレイと壁掛け金具の重量に十分耐えるよう、取り付け場所の強度を確認のうえ施工を行ってください。
- ご使用を終了した製品は、工事専門業者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。

■付属の単 4 乾電池は乳幼児の手の届くところに置かないでください



誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

■雷が鳴りだしたら本機や電源プラグには触れないでください



感電の原因となります。

接触
禁止

■上に水などの液体の入った容器を置かないでください

(花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの液体が入った容器)



水などの液体がこぼれ、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

水ぬれ
禁止

■ぬらしたりしないでください



火災・感電の原因となります。

水ぬれ
禁止

■風呂場、シャワー室などでは使用しないでください



火災・感電の原因となります。

水場使用
禁止

■不安定な場所に置かないでください



ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。

■振動が少なく、本機の質量に耐えられる場所に設置してください



倒れたり、落ちたりして、けがや故障の原因となります。

■裏ぶた（キャビネット）を外したり、改造したりしないでください



分解
禁止



感電のおそれあり

サービスマン以外の方は、裏ぶたをあげないでください。内部には高電圧部分が数多くあり、万一さわると危険です。

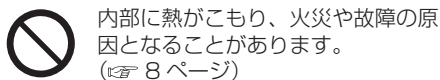
「本体に表示した事項」

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

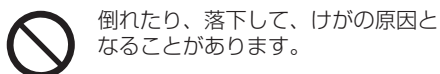
- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

注意

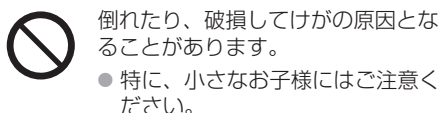
- 本機の通風孔をふさがないでください
- 風通しの悪い狭い所に押し込まないでください
- 逆さまにしないでください
- おお向けにしないでください
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください



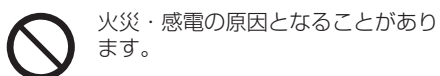
- 上に物を置かないでください



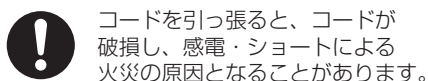
- 本機や据置きスタンドに乗ったり、ぶらさがったりしないでください



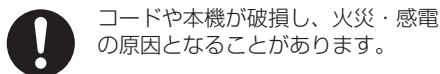
- 温度の高い所、湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所（調理台や加湿器のそばなど）に置かないでください



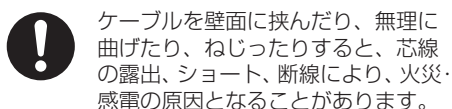
- 電源コードを取り外すときは、必ず電源プラグ（コンセント側）や、電源コネクタ（本体側）を持って抜いてください



- 移動させる場合は、電源コードや機器の接続線を外してください

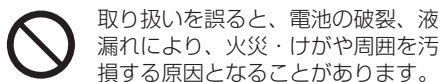


- 接続ケーブルの処理は確実に行ってください

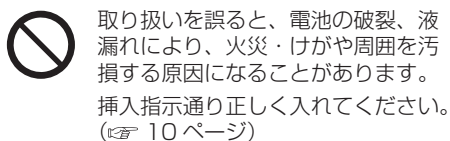


- 新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください

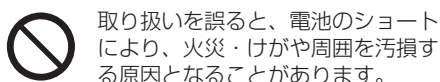
- 日光、火などの過度な熱にさらさないでください



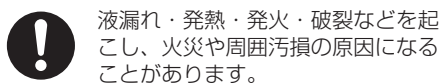
- 電池を入れるときには、極性（プラス \oplus とマイナス \ominus ）を逆に入れしないでください



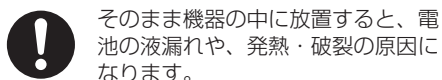
- 被覆のはがれた電池は使用しないでください



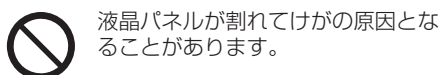
- 長時間使用しないときは、リモコンから電池を取り出してください



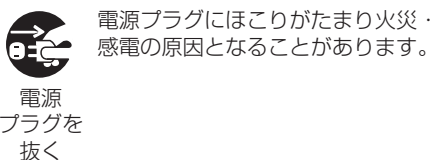
- 使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出してください



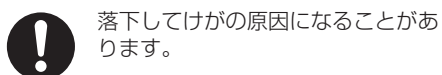
- 強い力や衝撃を加えないでください



- 長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください



- 開梱や持ち運びは2人以上で行ってください



注意

- 据置きスタンドをご使用になるときは、安全のため、転倒・落下防止の処置をしてください



地震やお子様がよじ登ったりすると、転倒・落下しけがの原因となることがあります。

- 壁への取り付けの際は、取り付けねじや電源コードが壁内部の金属部と接触しないように設置してください



壁内部の金属部と接触して、感電の原因となることがあります。

- 接続ケーブルを引っ張ったり、ひっかけたりしないでください



倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

- 特に、お子様にはご注意ください。

- 塩害が発生する所、腐食性ガスが発生する所に設置しないでください



腐食により落下し、けがの原因になることがあります。また、本機の故障の原因になる場合があります。

お手入れについて

- 一年に一度は内部の掃除を販売店にご依頼ください



内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除については販売店にご相談ください。

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください



感電の原因となることがあります。

電源
プラグを
抜く

使用上のお願い

■設置されるとき

本機の設置については、次に示す各項目をお守りください。

屋外に設置しないでください。

- 本機は室内でご使用ください。

機器相互の干渉に注意してください。

- 電磁波妨害による映像の乱れ、雑音などをさせて設置してください。

機器の接続は電源を「切」にして行ってください。

- 各機器の説明書に従って、接続してください。

振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。

- 本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。

本機の質量に耐えられる場所に設置してください。

- 転倒・落下により、けがの原因になることがあります。

高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。

- 高圧電線や動力源の近くに本機を設置すると妨害を受ける場合があります。

海拔 2 800 m 以上の場所に設置しないでください。

- 部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

直射日光を避け、熱器具から離して設置してください。

- キャビネットの変形や故障の原因となります。

本機の使用環境温度は、海拔 1 400 m 未満で使用する場合は、0℃～40℃、高地（海拔 1 400 m 以上～2 800 m 未満）で使用する場合は、0℃～35℃です。

- 取り付け、使用環境温度、接続、設定には条件があります。

設置環境の不具合による製品の破損などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。

本機の液晶パネル面を立てた状態で移動してください。

- 液晶パネル面を上または下にしての移動はパネル内部の破損の原因となります。

液晶パネルをつかむようなことはしないでください。

- 液晶パネルを強く押ししたり、先のとがった物で押ししたりしないでください。液晶パネルに強い力が加わると、画面表示にムラが生じ、故障の原因になります。

直射日光にさらされるような場所に設置しないでください。

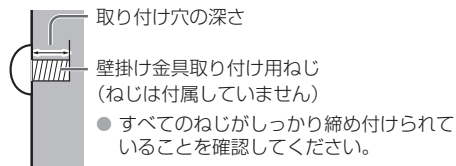
- 室内であっても直接日光が当たると液晶パネルの温度上昇により故障の原因になることがあります。

本機を保管しておく場合は、乾燥した室内に保管してください。

設置時の空間距離について

- 本機の動作保証温度の上限は 40℃です。ケースや筐体内に設置する場合は、冷却ファンや通気口を設けて、液晶パネル前面を含めた本機周辺温度（ケースや筐体内温度）が 40℃以下に維持するように適切な換気を実行してください。

VESA 規格準拠の壁掛け金具を使用する場合 使用するねじについて



(側面より見る)

	取り付けピッチ	取り付け穴の深さ	ねじ（本数）
65V 型	400 mm × 400 mm	20 mm	M8 (4)
55V 型	400 mm × 400 mm	18 mm	M6 (4)
50V 型	400 mm × 400 mm	20 mm	M6 (4)
43V 型	200 mm × 200 mm	16 mm	M6 (4)

■接続について

電源コードや接続ケーブル抜き差しについて

- 壁への設置を行った場合、電源コード、接続ケーブルの抜き差しが困難な場合は、先に接続してから設置してください。
コード類が絡まないようご注意ください。設置が完了してから、電源プラグをコンセントに差ししてください。

■ご使用になるとき

本機は残像が発生することがあります。

- 静止画を継続的に表示した場合、残像が生じることがあります。残像は通常の動画をしばらく表示すると解消されます。

画面に赤い点、青い点または緑の点があるのは、液晶パネル特有の現象で故障ではありません。

- 液晶パネルは精密度の高い技術で作られていますが、画面上に常時点灯または点灯しないドットが発生する場合があります。これらは故障ではありませんのでご了承ください。

	ドット抜けの割合*
65V 型	0.00005% 以下
55V 型	
50V 型	
43V 型	

* ISO9241-307 の基準に従って副画素（サブピクセル）単位で計算しています。

使用される温度・湿度条件によっては明るさのムラが発生することがありますが、故障ではありません。

- 連続通電でムラは消えていきます。消えない場合は、販売店にご相談ください。

液晶パネル表面について

- 液晶パネル表面に指紋や汚れがつくと、きれいな映像が見られません。傷や汚れがつかないように取り扱いにご注意ください。

適度の音量で隣近所への配慮を

- 特に夜間は小さな音でも通りやすいので、窓を閉めたりして生活環境を守りましょう。

ディスプレイの一部が熱くなることがあります。

- 前面パネル、天面、背面等の一部は温度が高くなっておりますが、性能・品質には問題ありません。

長時間で使用にならないときは

- 電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- 電源供給せずに長期保管する場合は、直射日光にさらされる様な場所に保管しないでください。

ご覧になっている映像端子以外の入力端子に接続されているケーブルを抜き差ししたり、映像機器の電源を「切」「入」すると映像が乱れることがあります。故障ではありません。

■有線 LAN について

静電気が多く発生するような場所でのディスプレイの使用は、できるだけしないでください。

- じゅうたんなどの静電気が多く発生するような場所でディスプレイを使用する場合、有線 LAN での通信が切れやすくなります。その場合は、問題となる静電気やノイズ源を取り除いてから、再度、有線 LAN 接続をしてください。
- まれに静電気やノイズにより LAN 接続ができなくなる場合があります。
このような場合は、本機および本機と接続している機器の電源をいったん切ったあと、再度、電源を入れてください。

放送局や無線機からの強い電波により、正常に動作しない場合があります。

- 近くに強い電波を発生する設備や機器がある場合は、それらの機器から十分に離して設置するか、両端で接地された金属箔あるいは金属配管で LAN 端子に接続している LAN ケーブルを覆ってください。

■セキュリティに関するお願い

本機をご使用になる場合、次のような被害に遭うことが想定されます。

- 本機を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意の第三者による本機の不正操作
- 悪意の第三者による本機の妨害や停止

セキュリティ対策を十分に行ってください。

- LAN 制御のパスワードを設定し、制御を実施するユーザーを制限してください。
- パスワードはできるだけ推測されにくいものにしてください。
- パスワードは定期的に変更してください。

- パナソニック コネクト株式会社およびその関係会社
が、お客様に対して直接パスワードを照会することは
ございません。直接問い合わせがあっても、パス
ワードを答えないでください。
- ファイアウォールなどの設定により、安全性が確保
されたネットワークでご使用ください。
- 廃棄時には、データの初期化を行ってから廃棄ください。

■お手入れについて

必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

キャビネットや液晶パネル表面の汚れは柔らかい布（綿・ネル地など）で軽くふく

- ひどい汚れや液晶パネルの表面に付着した指紋汚れなどは、水で 100 倍に薄めた中性洗剤に布をひたし、固く絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- 水滴が内部に入ると故障の原因になります。



○お知らせ

- 液晶パネルの表面は特殊な加工をしています。固い布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷がつく原因になります。

化学ぞうきんのご使用について

- 液晶パネルの表面には使用しないでください。
- キャビネットにご使用の際はその注意書きに従ってください。

殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけない

- キャビネットの破損や塗装がはがれる原因になります。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。



■廃棄について

製品を廃棄する際は、最寄りの市町村窓口または販売店に、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

付属品の確認

付属品

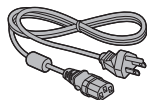
付属品が入っていることをご確認ください。

< >は個数です。

電源コード< 1 >

(約 2 m)

● 1JP143CQ2J



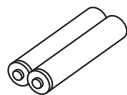
リモコン< 1 >

● DPVF2599ZC/X1



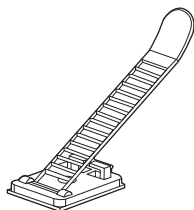
単 4 形乾電池< 2 >

(リモコン用)



クランパー< 2 >

● DPVF1654ZA

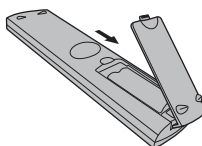


お願い

- 乳幼児の手の届かないところに、適切に保管してください。
- 付属品の品番は予告なく変更する場合があります。(上記品番と実物の品番が異なる場合があります。)
- 付属品を紛失された場合は、お買い上げの販売店へご注文ください。(サービスルート扱い)
- 包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理してください。

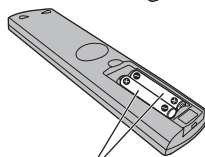
リモコンの電池の入れかた

ふたをあける



電池を入れ、ふたをしめる

(⊖ 側から先に入れます。)



単 4 形乾電池

お願い

- 電池を誤って取り付けると、液漏れや腐食のために、リモコンが壊れることがあります。
- 電池は環境に配慮した方法で廃棄してください。

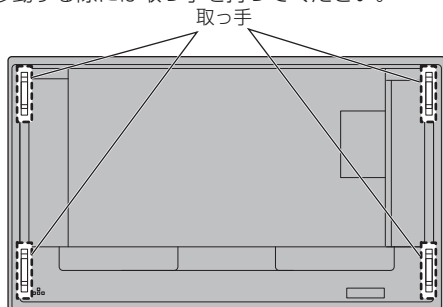
次の点にご注意ください。

1. 電池は常に 2 本 1 組で交換してください。
2. 使用済み電池と新しい電池を組み合わせないでください。
3. 異なる種類の電池を組み合わせないでください(例えばマンガン電池とアルカリ電池など)。
4. 使用済み電池の充電、分解、焼却などを行わないでください。
5. 電池を分解したり、火の中に投入したりしないでください。
また、直射日光の当たる場所や火のそばなど、高温の場所に保管しないでください。

移動するときの注意

65V 型

本機には、持ち運びのための取っ手があります。移動する際には取っ手を持ってください。



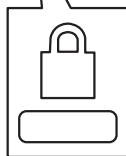
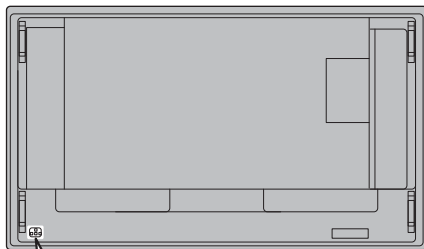
お願い

- 取っ手以外の場所を持たないでください。
- 持ち運びは 2 人以上で行ってください。
落下してけがの原因になることがあります。
- 移動時は液晶パネル面を立てた状態で持って移動してください。
液晶パネル面を上または下にしての移動はパネル変形、内部破損の原因となることがあります。
- 本機の上下左右のフレームやコーナー部、また液晶パネル前面を手で持ったり、ぶつけたりしないでください。
液晶パネルの故障の原因になります。
またパネルが割れてけがの原因となる場合があります。

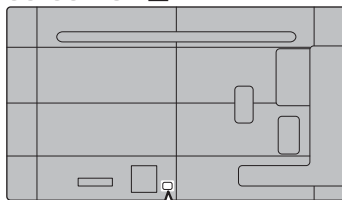
ケンジントンセキュリティスロット

本機のセキュリティスロットは、ケンジントンセキュリティケーブルと互換性があります。

65V 型



55/50/43V 型



別売オプション

別売オプションのうち取り付けを行う壁掛け金具は、しっかりと取り付けてください。なお、取り付けについては専門業者にご依頼ください。

取り付けは2人以上で行ってください。

据置きスタンド：

- TY-ST75PE9 (65V 型)
- TY-ST55PE9 (55V 型)
- TY-ST43PE9 (50/43V 型) *¹

壁掛け金具：

- TY-WK98PV1 (65V 型)

予兆監視ソフトウェア

(基本ライセンス / 3年ライセンス)

- ET-SWA100 シリーズ*²

※ 1 43V 型に据置きスタンド (TY-ST43PE9) を取り付けた場合、ケンジントンセキュリティースロットはご使用になれません。

※ 2 ライセンスの種類によって品番末尾の記号が異なります。

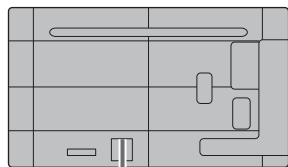
お願い

- 壁掛け金具を取り付けるときは、必ず取っ手（下側）2カ所を取り外してください。（65V 型）
- 据置きスタンドや壁掛け金具を取り付けるときは同梱の説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。また、必ず転倒防止の処置をしてください。
- 設置は、性能・安全確保のため、必ずお求めの販売店または専門業者に施工を依頼してください。
- 壁掛け金具の設置環境の不具合による製品の破損などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。
- ご使用を終了した製品は、工事専門業者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。
- 設置時、衝撃などによる「液晶パネルの割れ」が発生する場合がありますので、取り扱いにはご注意ください。
- 別売オプションの品番は、予告なく変更する場合があります。

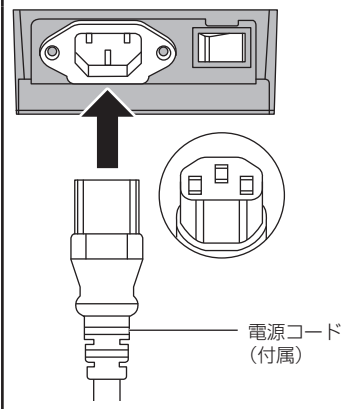
接続

電源コードの接続と固定、 接続ケーブルの固定

本体後面



電源コードは本体背面に奥までしっかり差し込んでください。



お願い

- 電源コードを外す場合は、必ず電源コンセント側の電源プラグを先に抜いてください。
- 付属の電源コードは、本機専用です。他の用途に使用しないでください。

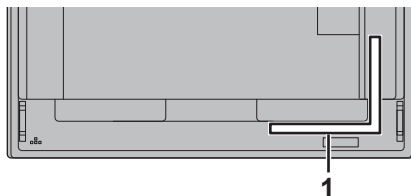
接続ケーブルの固定

お願い

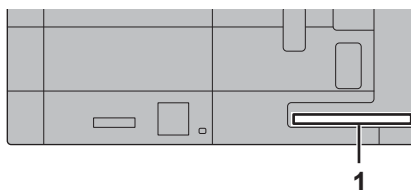
- 本機はクランパーを2本付属しています。下の図に示す位置でケーブルを固定してください。

※クランパーをご購入される場合は、お買い上げの販売店へご注文ください。(サービスルート扱い)

65V 型



55/50/43V 型



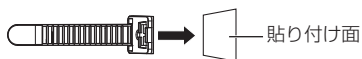
1 信号ケーブル用

1. クランパーの取り付け

お願い

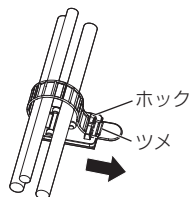
- 貼り付ける面のほこり、水、油などの汚れは拭き取り、貼り付け面にしっかり押し付けて貼ってください。
- 一度貼り付けたクランパーの再貼り付けはできませんので、貼り付け位置を十分に確認のうえ、貼り付けてください。

裏面のテープをはがし、平らな貼り付け面に貼る



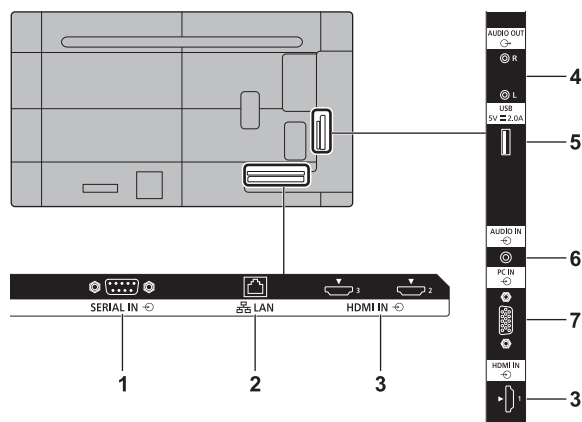
2. ケーブルを束ねる

バンド先端をホックに通して引っ張り、ツメにかける



緩め方

ツメからバンドを外し、バンド先端を引き抜く



1 SERIAL IN : シリアル入力端子
パソコンに接続して本機を制御します。

2 LAN : LAN 端子
ネットワークに接続して本機を制御します。

**3 HDMI IN 1、HDMI 入力端子
HDMI IN 2、
HDMI IN 3 :** ビデオデッキや DVD プレーヤーなどの映像機器を接続します。
● 市販の HDMI 規格に適合した 4K 対応 HDMI ケーブルをご使用ください。

4 AUDIO OUT : アナログ音声出力端子
アナログ音声入力端子があるオーディオ機器を接続します。

5 USB : USB 端子
USB メモリーを接続し、USB メディアファイル再生機能を使用します。また、受像時に 5V/2A まで外部機器に電源を供給する事ができます。

6 AUDIO IN : アナログ音声入力端子

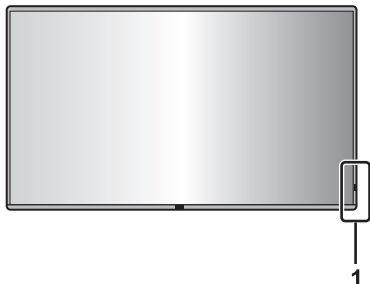
7 PC IN : パソコン入力端子
パソコンの映像端子を接続します。

接続の前に

- 接続の前に、本機と接続する外部機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 各機器の電源を切ってからケーブルの接続をしてください。
- 下記の点に注意して、ケーブルを接続してください。行わない場合、故障の要因になります。
 - ケーブルを本機、あるいは本機と接続する外部機器に接続するときは、ケーブルを持つ前に周辺の金属に触れて身体の帯電を除去した状態で作業してください。
 - 本機と、本機に接続する機器とを接続するケーブルは、必要以上に長くしないでください。長くするほどノイズの影響を受けやすくなります。ケーブルを巻いた状態で使用するとアンテナになりますので、さらにノイズの影響を受けやすくなります。
 - ケーブル接続時は、アースが先に接続されるように、接続する機器の接続端子部にまっすぐに挿入してください。
- システム接続に必要なケーブルは、各機器の付属品、別売品がない場合は接続される外部機器に合わせて準備してください。
- プラグ外形が大きな接続ケーブルをご使用になりますと、隣接する接続ケーブルのプラグ部またはバックカバーなどに接触する場合があります。端子配列に適したプラグサイズの接続ケーブルをご使用ください。
- 爪折れ防止カバー付き LAN ケーブルを挿入した場合、カバー部がバックカバーに接触し抜けにくくなる場合がありますのでご注意ください。
- パソコンのモデルによっては、本機と接続して使用できないものもあります。
- 各機器と本機を、長いケーブルを使用して接続する場合は、ケーブル補償器などを使用してください。本機が正常に映像を表示できないことがあります。

各部の基本説明

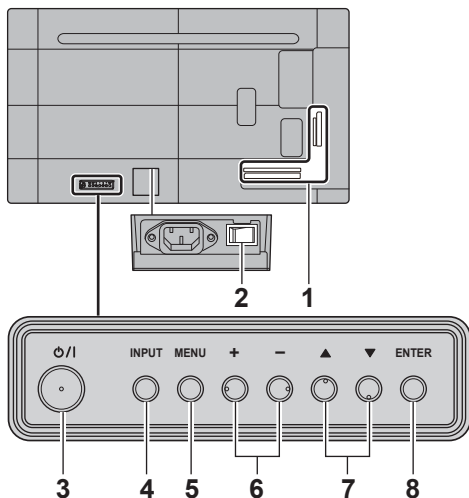
ディスプレイ



1 電源ランプ / リモコン受信部

本体の電源「入」のとき(電源ボタン(○/|)「入」)

- 映像表示状態：緑色点灯
- スタンバイ状態：赤色または橙色点灯



1 外部入出力端子

映像機器やパソコンなどを接続します。
([P.14](#) ページ)

2 主電源スイッチ (○/|)

主電源を「切 (○)」「入 (|)」します。

主電源スイッチの「切」「入」は電源プラグのコンセントからの抜き差しと同様です。主電源を「入 (|)」にしてから、リモコンまたは本体の電源ボタンで電源を「切」「入」してください。

3 電源ボタン (○/|)

ディスプレイ本体の主電源スイッチが「入 (|)」のとき、電源を入れたり、スタンバイにするときに使用します。

4 INPUT ボタン

接続された機器を選択します。

メニュー画面で項目を決定します。

5 MENU ボタン

メニュー画面を表示します。

6 + - ボタン

音量を調整します。

メニュー画面で設定の切り換えやレベルを調整します。

7 ▲ ▼ ボタン

メニュー画面で設定項目を選択します。

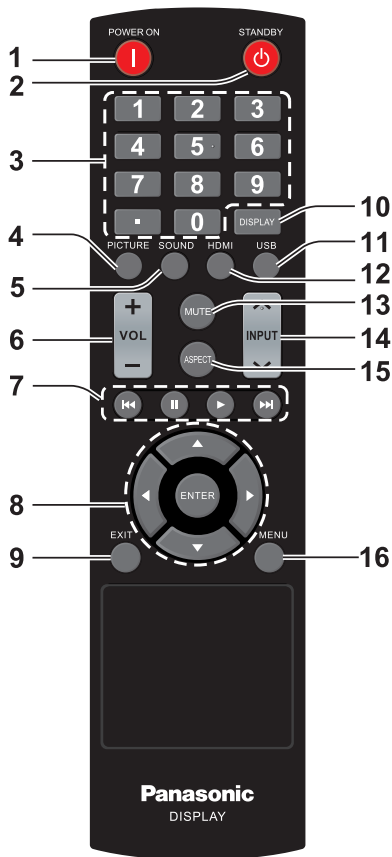
8 ENTER ボタン

メニュー画面で項目を決定します。

お願い

- 本機の内蔵スピーカーから音声を出力する場合は「音声の調整」メニューの「内蔵スピーカー」を必ず「有効」に設定してください。

リモコン



1 POWER ON ボタン (I)

- 電源が「切」(スタンバイ)のときに「入」(受信状態)にします。

2 STANDBY ボタン (⏻)

- 電源が「入」のときに「切」(スタンバイ)にします。

3 数字 (0 ~ 9) ボタン / ・

- LAN 設定時に数字を入力します。

4 PICTURE

- 「映像メニュー」を設定します。

5 SOUND

- 本機の音質を変更するための画面を表示します。
<SOUND> を押すごとに、以下のように切り換えます。

トレブル → バス

6 VOL + / VOL -

- 音量を調節します。

7 ナビゲーションボタン (◀, ▶, ⏪, ⏩)

- USB メニューや HDMI CEC 機能の操作に使用します。

8 ENTER / カーソルボタン (▼▲◀▶)

- メニュー画面の操作に使用します。

9 EXIT

- メニュー画面を終了します。

10 DISPLAY

- 本機の情報を表示します。

11 USB

- USB 入力に切り換えます。

12 HDMI

- HDMI 入力に切り換えます。

13 MUTE

- 音声ミュートをオン / オフします。

14 INPUT ▲ / ▼

- ディスプレイに表示する入力を切り換えます。

15 ASPECT

- 画面モード (アスペクト) を選択します。

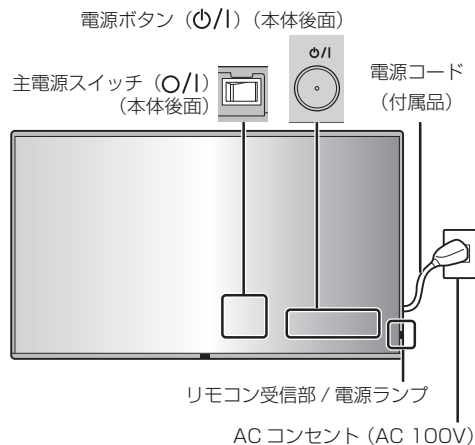
16 MENU

- メニュー画面を表示します。

お知らせ

- 本書では <INPUT> のようにリモコンや本体のボタンを <> で表しています。
また、主にリモコンのボタンで操作説明をしています。本体に同様のボタンがある場合は、いずれのボタンもご使用になれます。

基本の操作



リモコンはリモコン受信部へ向けて操作してください



お願い

- 本体のリモコン受信部とリモコン間に障害物を置かないでください。
- リモコンはリモコン受信部の正面あるいはリモコン受信部を見通せる方向から同部へ向けて操作してください。
- リモコンを直接本体のリモコン受信部に向けて操作する場合は、リモコン受信正面より約7m以内で操作してください。角度によっては操作可能な距離が短くなる場合があります。
- 本体のリモコン受信部に直射日光や蛍光灯の強い光を当てないでください。

1 電源コードをディスプレイに接続する

2 電源プラグをコンセントへ接続する

(AC 100 V 50 Hz/60 Hz)

お知らせ

- 電源コードを外す場合は、必ずコンセント側の電源プラグを先に抜いてください。
- オンスクリーンメニューで設定を変更した直後に電源プラグを抜くと、設定内容が保存されない場合があります。十分に時間を置いてから電源プラグを抜くか、リモコンやRS-232C制御またはLAN制御で電源「切」を実行後に電源プラグを抜いてください。

3 本体の主電源スイッチ (〇/Ⓜ) を「入 (Ⓜ)」にする

4 本体の電源ボタン (⏻/⏻) を押し 本体の電源を「入」にする

電源ランプ：緑色点灯 (受像状態)

- 本体の主電源スイッチ「入 (Ⓜ)」のとき、電源ランプは点灯し、リモコンで操作ができます。

■ リモコンで「切」「入」する

電源を入れる

- 本体の主電源スイッチ「入 (Ⓜ)」(電源ランプ --- 赤色または橙色) でリモコンのPOWER ON ボタン (Ⓜ) を押すと受像します。

電源ランプ：緑色点灯 (受像状態)

電源を切る (スタンバイ状態)

- 本体の主電源スイッチ「入 (Ⓜ)」(電源ランプ --- 緑色) でリモコンのSTANDBY ボタン (⏻) を押すと電源「切」になります。

電源ランプ：赤色または橙色点灯 (スタンバイ)

お知らせ

- 電源プラグを抜いた後も、電源ランプがしばらく点灯し続けることがありますが故障ではありません。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

修理を依頼されるとき

組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読み
のうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグ
を抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- 保証期間中は
保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により
修理させていただきます。
下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。
- 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されて
います。

技術料 は、 診断・故障箇所の修理および部品交換・
調整・修理完了時の点検などの作業にか
かる費用です。

部品代 は、 修理に使用した部品および補助材料代で
す。

出張料 は、 お客様のご依頼により製品のある場所へ
技術者を派遣する場合の費用です。

■ 保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い
上げの販売店からお受け取りください。

よくお読みのと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

PASSにて登録いただきますと、追加で2年間の無償
修理サービス特約が適用されます。

本体購入後1か月以内にPASSにご登録頂きますよう
お願いいたします。

「PASS」とは、パナソニック 業務用ディスプレイ / プ
ロジェクター テクニカルサポートサイトの名称です。

詳しくは、弊社 WEB サイト
(<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/pass/>)
をご覧ください。

■ 補修用性能部品の保有期間

パナソニック コネクト株式会社は、この液晶ディスプレ
イの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有して
います。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持する
ために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるときご連絡いただきたい内容

ご氏名・ご住所・電話番号

製品名・品番・お買い上げ日

故障または異常の内容

訪問ご希望日

■ 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック 業務用ディスプレイサポートセンター

電話 フリー
ダイヤル  **0120-872-002**
※携帯電話からもご利用いただけます。

営業時間：月～金 (祝日と弊社休業日を除く)
9:00～17:30 (12:00～13:00は受付のみ)

ホームページからのお問い合わせは

<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/supportcenter/>

ご使用の回線(IP 電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック コネクト株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用さ
せていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号
を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合
を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡
ください。

仕様

本体

品番	TH-65CQ2J (65V型) *1	TH-55CQ2J (55V型) *1
種類	UHD 液晶ディスプレイ	
使用電源	AC100 V ± 10 % 50 Hz / 60 Hz	
消費電力	196 W	140 W
	リモコンで電源「切」時 約 0.5 W	
音声実用最大出力	20 W (10 W + 10 W) JEITA	
スピーカー	フルレンジ: φ 30 mm × 2 2個	
液晶ディスプレイ パネル	ADS パネル (Direct LED バックライト)	
	65 V 型*1 (アスペクト比 16 : 9)	55 V 型*1 (アスペクト比 16 : 9)
画面寸法	幅 : 1 428.4 mm 高さ : 803.5 mm 対角 : 1 638.9 mm	幅 : 1 209.6 mm 高さ : 680.4 mm 対角 : 1 387.8 mm
画素数	8 294 400 画素 (水平 3 840 × 垂直 2 160)	
動作使用条件	温度 : 0 °C ~ 40 °C *2 湿度 : 20 % ~ 80 % (結露のないこと)	
稼働時間	16 時間 / 日	
HDMI 入力端子 HDMI IN 1 HDMI IN 2 HDMI IN 3	TYPE A コネクター*3 × 3 (4K 対応) HDCP2.2 対応 音声信号 リニア PCM (サンプリング周波数 : 48 kHz/44.1 kHz/32 kHz)	
パソコン入力端子 PC IN	ミニ D-sub 15 ピン (DDC2B 対応) × 1	
音声入力端子 AUDIO IN	ステレオミニジャック (M3) × 1 0.5 V [rms]	
音声出力端子 AUDIO OUT	RCA ピンジャック × 2 0.5 V [rms] 出力 : 可変 (-∞ ~ 0 dB) (1 kHz 0 dB 入力, 10 k Ω 負荷時)	
シリアル入力端子 SERIAL IN	外部制御用端子 D-sub 9 ピン × 1 RS-232C 準拠	
LAN 端子 LAN	通信方式 : RJ45 10BASE-T/100BASE-TX	
USB 端子 USB	USB コネクター × 1、TYPE A DC 5V/2.0 A	
外形寸法	幅 : 1 463 mm 高さ : 838 mm 奥行 : 94 mm (取っ手を除く : 69 mm)	幅 : 1 242 mm 高さ : 713 mm 奥行 : 66 mm
質量	約 29.0 kg	約 17.4 kg
キャビネット材質	金属 (前面、バックカバー)	金属 (前面)、樹脂 (バックカバー)

品番	TH-50CQ2J (50V型) ※1	TH-43CQ2J (43V型) ※1
種類	UHD 液晶ディスプレイ	
使用電源	AC100 V ± 10 % 50 Hz / 60 Hz	
消費電力	143 W	103 W
	リモコンで電源「切」時 約 0.5 W	
音声実用最大出力	20 W (10 W + 10 W) JEITA	
スピーカー	フルレンジ：φ 30 mm × 2 2個	
液晶ディスプレイ パネル	VA パネル (Direct LED バックライト) 50 V 型※1 (アスペクト比 16 : 9)	ADS パネル (Direct LED バックライト) 43 V 型※1 (アスペクト比 16 : 9)
	幅：1 095.8 mm 高さ：616.4 mm 対角：1 257.3 mm	幅：941.1 mm 高さ：529.4 mm 対角：1 079.8 mm
画素数	8 294 400 画素 (水平 3 840 × 垂直 2 160)	
動作使用条件	温度：0℃～40℃※2 湿度：20%～80% (結露のないこと)	
稼働時間	16 時間 / 日	
HDMI 入力端子 HDMI IN 1 HDMI IN 2 HDMI IN 3	TYPE A コネクター※3 × 3 (4K 対応) HDCP2.2 対応 音声信号 リニア PCM (サンプリング周波数：48 kHz/44.1 kHz/32 kHz)	
パソコン入力端子 PC IN	ミニ D-sub 15 ピン (DDC2B 対応) × 1	
音声入力端子 AUDIO IN	ステレオミニジャック (M3) × 1 0.5 V [rms]	
音声出力端子 AUDIO OUT	RCA ピンジャック × 2 0.5 V [rms] 出力：可変 (-∞～0 dB) (1 kHz 0 dB 入力、10 k Ω 負荷時)	
シリアル入力端子 SERIAL IN	外部制御用端子 D-sub 9 ピン × 1 RS-232C 準拠	
LAN 端子 LAN	通信方式：RJ45 10BASE-T/100BASE-TX	
USB 端子 USB	USB コネクター × 1、TYPE A DC 5V/2.0 A	
外形寸法	幅：1 129 mm 高さ：649 mm 奥行：66 mm	幅：973 mm 高さ：562 mm 奥行：65 mm
	質量 約 15.4 kg	約 11.8 kg
キャビネット材質	金属 (前面)、樹脂 (バックカバー)	

リモコン

使用電源	DC 3 V (単 4 形マンガンまたはアルカリ乾電池 2 個)
操作距離	約 7 m 以内 (リモコン受信部正面)
質量	約 91 g (乾電池含む)
外形寸法	幅：48 mm 高さ：27 mm 奥行：190 mm

※ 1 ディスプレイの V 型は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

※ 2 高地 (海拔 1 400 m 以上 2 800 m 未満) で使用する場合は使用環境温度は 0℃～35℃になります。

※ 3 VIERA LINK 非対応

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

(This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

ソフトウェアライセンス

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック コネクト株式会社 (パナソニック コネクト) が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニック コネクトにライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPLV2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記 (3) ~ (5) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

パナソニック コネクトは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読み取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口： oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991 Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.

51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

- c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it. Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program. In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

- a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.
6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.
7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice. This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.
10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>

Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author

Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w`.

This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c` for details.

The hypothetical commands `show w` and `show c` should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w` and `show c`; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program

'Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989

Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.

51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the “Lesser” General Public License because it does Less to protect the user’s freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users’ freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a “work based on the library” and a “work that uses the library”. The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called “this License”). Each licensee is addressed as “you”.

A “library” means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The “Library”, below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A “work based on the Library” means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term “modification”.)

“Source code” for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library’s complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library. You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.
2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
 - a) The modified work must itself be a software library.
 - b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
 - c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
 - d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a “work that uses the Library”. Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a “work that uses the Library” with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a “work that uses the library”. The executable is therefore covered by this License.

Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a “work that uses the Library” uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a “work that uses the Library” with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer’s own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

- a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable “work that uses the Library”, as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

- b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
- c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
- d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
- e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy. For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

- 7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:
 - a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
 - b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.
- 8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
- 9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.
- 10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.
- 11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.
- 12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.
14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>

Copyright (C) <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version. This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library 'Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990

Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

本製品は、AVC Patent Portfolio License、VC-1 Patent Portfolio License 及び MPEG-4 Visual Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

(i) 画像情報を AVC 規格、VC-1 規格及び MPEG-4 Visual 規格に準拠して（以下、AVC/VC-1/MPEG-4 ビデオ）記録すること。

(ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC/VC-1/MPEG-4 ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC/VC-1/MPEG-4 ビデオを再生すること。

詳細については MPEG LA, LLC ホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

商標について

- Microsoft、Windows、Internet Explorer、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、macOS、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- PJLink 商標は、日本、米国その他の国や地域における登録または出願商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

■ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



これらのシンボルマークは EU 域内のみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。



警告

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高周波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

便利メモ おぼえのため記入 されると便利です。	お買い上げ日	年 月 日	品番	
	販売店名	☎ () -	お客様ご相談窓口	
		☎ () -		

パナソニック コネクト株式会社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町 2 番 15 号

中国印刷